

添付資料 4 : 周知用資料
----------------

## エピネット日本版サーベイランスネットワークへの情報提供について ご協力をお願い

当院では針刺し切創等事例の詳細なデータを、エピネット日本版により収集しています。これまで受傷者の方から提供していただいたデータは、当院における職業性感染予防対策に役立てるため、Episys という集計・解析ソフトに入力され管理されています。

こうして集積された針刺し切創に係るデータは、全国規模でまとめられることで、医療機関における感染予防対策、特に血液媒介病原体による感染予防や、医療従事者の安全衛生対策を進める上でのエビデンスとして生かすことができると期待されます。

こうした観点から、今般、当院でこれまでに収集した針刺し事例のデータを、職業感染制御研究会（代表；森屋恭爾東京大学大学院医学系研究科感染制御学教授、エピネット日本版サーベイランスデータ事務局；聖マリアンナ医科大学）による針刺し切創サーベイランスネットワーク（エピネット日本版サーベイランスネットワーク）に提供することとなりました。

サーベイランスのために提供されるデータには、氏名とふりがな、職員番号、カルテ番号、院内管理記録という個人を特定することができる情報は含まれません。針刺し切創事例のデータはデータベース上の病院コード番号と院内報告番号のみによって管理されるため、サーベイランスのデータ管理者（聖マリアンナ医科大学と職業感染制御研究会の担当者）であっても、当院の担当者から情報を得ない限り個人を特定することはできません。もちろん、当院の担当者がそのような情報を外部に漏らすことはありません。

サーベイランスの計画書等の資料につきましては、職業感染制御研究会のウェブサイト上で提供されておりますので、ご覧ください。研究会ウェブサイトのアドレスは以下のとおりです。

<http://jrigoicp.umin.ac.jp/>

なお、すでに当院で入力されたデータであっても、サーベイランスで利用されることについて同意がいただけない場合には、当院から提出するデータから該当するデータを削除いたしますし、サーベイランスのために提出した後であっても、データの削除には対応いたします。

当院で針刺しの経験を有し、報告されている方で、ご自身のデータのサーベイランスでの利用を望まれない方は、当院感染管理担当者（各医療機関感染管理担当者氏名）にご連絡ください。

以上